

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 国立大学法人 三重大学

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ 総合大学 ）

住所 〒 514 - 8507
三重県津市栗真町屋町1577

E-mail : shien@gecer.mie-u.ac.jp

Website : http://www.mie-u.ac.jp/

児童生徒数：男子 4615名 女子 2683名 合計 7298名
 児童・生徒の年齢 18歳～26歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

今年度は、ESD ユネスコ世界会議の開催に併せて本学が実施した「ESD in 三重 2014」を中心に事業を実施すると共に、ASPUUnivNet のメンバーとして三重県のユネスコスクールの拡大及び活動の活性化に貢献しました。

【ESD活動】

- ① 平成 26 年 6 月に開催された「ESD ユネスコ世界会議半年前イベント」(名古屋会場)においてブースを出展し、本学が行っている ESD の取組みについて周知すると共に、「ESD in 三重 2014」の開催の告知を行った。
- ② 平成 26 年 8 月には、環境学習として、トヨタ自動車株式会社と連携し、松阪市松名瀬町松名瀬海岸において、「ESD in 三重 2014」のプレイベントという位置づけで「第 1 回 AQUA SOCIAL FES!! 2014 in 松名瀬」を開催し、清掃活動及び生物多様性観察会を実施した。(参加者 350 名)
- ③ 平成 26 年 10 月に開催された「第 14 回 地域が応援するキャリアアップセミナー」(津市高野尾町赤塚植物園)では、三重県教育委員会と連携し、教員が環境学習の講師を務めると共に、三重大学環境 ISO 学生委員会学生がフィールドワークを交え、中学生・高校生のグループ・ファシリテートを行うなど生物多様性に関する学習の支援を行った。(中学生・高校生参加者 56 名)
- ④ 平成 26 年 11 月には、ESD ユネスコ世界会議の開催に合わせて「ESD in 三重 2014」(三重大学、鳥羽市、松阪市、名古屋市等)を開催し、県内小・中・高校のユネスコスクール(加盟申請中含む)を中心とする 10 校からの 57 名の児童・生徒を含めた、総勢 19 カ国 210 人の参加を得て、学びと交流の機会を創出することができた。参加者は様々なプログラムを体験する中で、ESD について気づき、学んだことをもとに、持続可能な社会における自らの役割を考え、それらをユース宣言としてまとめた。
- ⑤ 「ESD in 三重 2014」の一環として、三重におけるプログラムの実施と平行して、岡山と名古屋で開催されたサイドイベント・併催イベントにおいて、ブースを出展し、「ESD in 三重 2014」の開催告知や成果およびユース宣言の公表などを行った。また、併催イベント「ESD 交流セミナー」(名古屋国際会議場)においては、三重大学セミナーを企画し、「ESD in 三重 2014」の成果およびユース宣言の公表を行った。(セミナー参加者 73 名)

【ユネスコスクール支援及び活動】

- ① ユネスコスクール加盟申請支援として、相談(5件)、申請書確認(三重県・長野県合わせて7件 H27.2月現在)を行った。
- ② 平成 26 年 12 月には、ポスト ESD の位置づけで、「三重大学ユネスコスクール研修会/シンポジウム 2014 『ESD in 三重 2014』国際会議」(三重大学)を開催し、元文部科学省国際統括官の加藤重治氏による、ESD ユネスコ世界会議の成果報告と今後の展望についてご講演いただいた。その後、三重県内のユネスコスクール加盟申請中を含む小・中・高・大学における活動事例について児童・生徒・学生らに報告していただいた。それらは、ユネスコスクールを中心とする小・中・高・大学生及び県内教育機関及び社会教育施設、NPO などの参加者と共に、世界・日本・三重県・地域など様々なレベルにおける ESD に関する取組みについての情報を共有する

場となると共に、さらなる発展のための学びと交流の機会となった。

- ③ 平成 26 年度 3 回開催された「ASPUnivNet 連絡会議」や「東海北陸ユネスコスクール交流会」などにも参加し、他大学や各ユネスコスクールで取組んでいる先進的な事例を学び、ESD プログラムに関する知見を広げると同時に、ユネスコスクール支援大学として、地域における本学の支援のあり方について考える機会となった。

これらの実践と経験を踏まえ、三重大学では ESD の普及・推進を行うと共に、「三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム」事業との両輪で、ユネスコスクールの拡大と質の充実を図っていく予定である。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）